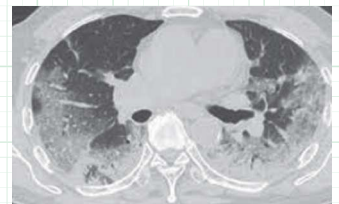
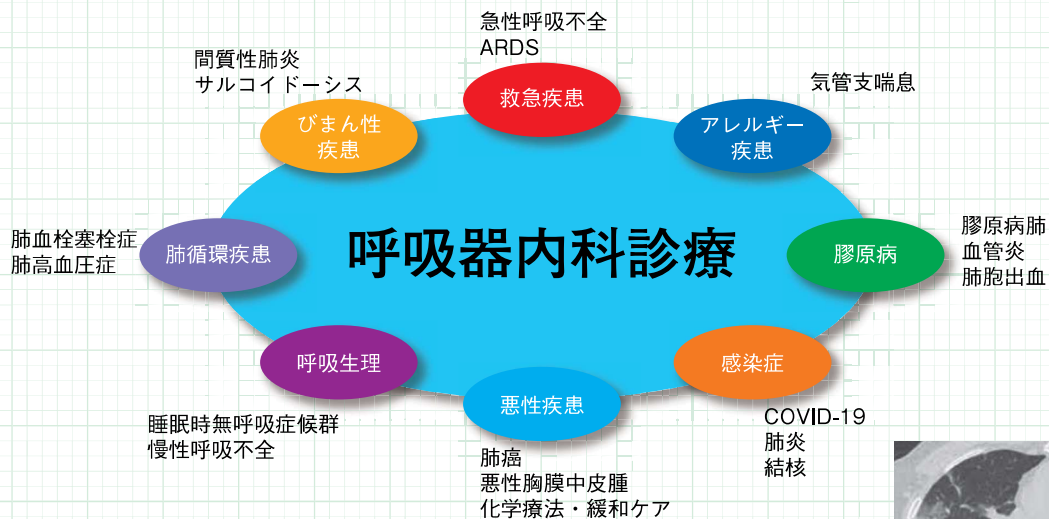


呼吸器内科

呼吸器内科診療は、肺炎・COPD・気管支喘息などの common disease, 呼吸管理を必要とする急性～慢性呼吸不全, 肺癌・悪性胸膜中皮腫などの悪性腫瘍, 間質性肺炎や呼吸調節障害などの難病, 睡眠時無呼吸症候群などの呼吸生理の知識を要す疾患など幅広い領域を担当する診療科です。将来どの科の医師を志すにしても遭遇する頻度の高い疾患を経験できます。特に、現在は世界中で医療の高度化が進み、高齢化、未知の感染症が流行している状況からも呼吸器診療は常に高いニーズがあります。診療を通して、胸部診察、胸部X線・CTなどの画像読影、呼吸管理、呼吸器内視鏡などを経験しながら、他領域の疾患を他の診療科と連携しながら私たち専門医 / 指導医と一緒に幅広く疾患を学ぶことが可能です。



第一呼吸器内科部長

寺田 二郎

日本呼吸器学会認定 呼吸器専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会認定 気管支鏡専門医・指導医、日本内科学会認定 認定内科医・総合内科専門医、日本がん治療認定機構 癌治療認定医

日本内科学会認定 内科救急 (JMECC) インストラクター、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会認定 呼吸ケア指導士 (上級)、日本救急医学会 ICLS (Immediate Cardiac Life Support) インストラクター、日本睡眠学会専門医

01 研修期間

1-2年(希望により変更可能)

02 目的

急性期から慢性期(緩和療法を含む)幅広い呼吸器疾患を学び、経験することを目的とする。また内科専門医、呼吸器内科専門医を取得するのに必要な臨床経験を積む。

03 到達目標 (目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等)

- (1)救急診療,高度専門診療のみならず,一般的な内科診療を通して,内科医としての総合力を身につけること。
- (2)呼吸管理,胸部画像読影ができるようになること。
- (3)幅広い呼吸器疾患に対して,必要な初期対応,救急対応を身につけること。
- (4)診察,検査,画像所見から,各呼吸器疾患を鑑別していくスキルを身につけること。
- (5)将来呼吸器内科専門医,気管支鏡専門医を取得できるようにすること。

04 取得可能資格

学会名	取得可能資格	学会の研修施設等指定・認定状況
日本内科学会	日本内科学会内科専門医	日本内科学会教育病院
日本呼吸器学会	日本呼吸器学会専門医 (取得のための準備)	日本呼吸器学会認定連携施設
日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医 (取得のための準備)	日本呼吸器内視鏡認定施設

指導体制と研修方法

呼吸器内科指導医2名,呼吸器内科専門医2名を含む上級医4名による指導

主に入院患者の受け持ち(チーム医療),胸部画像読影,検査(気管支鏡),手技(胸腔穿刺,胸腔ドレナージなど),呼吸管理(非侵襲的陽圧呼吸管理,人工呼吸,ハイフローネーザルカヌラ,酸素療法)

05 研修期間中に経験する症例・習得すべき手技

- 疾患:呼吸不全,肺炎をはじめとする呼吸器感染症,COPD、気管支喘息,間質性肺炎,咳嗽・喀痰症状の管理,胸部異常陰影,肺がんをはじめとする悪性腫瘍,睡眠時無呼吸症候群
- 取得すべき手技:胸部画像診断,呼吸管理,胸腔穿刺,胸腔ドレナージ,呼吸器救急対応,気管支鏡